

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	特別演習 3	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	資料などプリント配布				
担当教員情報					
担当教員	安田智紀、根本毅、小林猛		実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的					
<p>本授業では「設計計画3」との連動した授業が行われる。「設計計画3」では担当教員とのエスキスや課題説明等が行われ、本授業では図面製作や模型製作、プレゼンテーション製作などを行う。自らの構想した計画案を第三者に伝えるために、図面表現、模型表現、プレゼンテーション手法などを学ぶことを学習目的とする。</p>					
到達目標					
<p>以下を到達目標とする。</p> <p>①敷地調査を行い、問題発見・課題解決の手法を理解する。</p> <p>②多様な視点で設計を行うことができる。</p> <p>③自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。</p>					
教育方法等					
授業概要	各回の進捗を関連する「設計計画3」の進捗と併せて管理する。担当教員などとのエスキスやコミュニケーションを通して、最終成果物の質の向上、技術力の向上を目指すための授業である。				
注意点	建築を学ぶものは、日々の作業の積み重ねが大切である。また、自宅での学習、エスキスに向けた課題への取り組みがクリエイティブの根幹をなすというモノづくりの流れと原則を身体感覚に根差した理解を行う。よって具体的には休まないこと。授業時間の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	成果物	70%	各課題の提出物を総合的に評価する。		
	平常点	30%	各回授業の授業態度を総合的に評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ディスカッション	第一課題：「THE EDGE OF ARCHITECTURE」を理解する。			
2回	第一課題作成 作成	敷地調査を行い、問題発見・課題解決の手法を理解する。			
3回	第一課題講評会	自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。			
4回	ディスカッション	第二課題：「商業空間をエッジで組み立てる」を理解する。			
5回	第二課題計画案 作成	ロジックを意識した計画をすることができる。			
6回	第二課題計画案 作成	設計意図を模型で表現することができる。			
7回	第二課題計画案 作成	設計意図を図面・プレゼンボードに表現することができる。			
8回	第二課題講評会	自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。			
9回	ディスカッション	第3課題：「子供と地域への社会貢献」を理解する。			
10回	第三課題計画案 作成	総合的な課題として、多様な視点で設計を行うことができる。			
11回	第三課題計画案 作成	地域施設が地域共生に果たす役割を理解する。			
12回	第三課題計画案 作成	利用者の立場（主にこども）に立って計画することができる。			
13回	第三課題計画案 作成	設計意図がより伝わるようなプレゼンテーションを行うことができる。			
14回	提出	期限内に提出することができる。			
15回	発表・講評会	自らの成果物と他者の成果物を比較・評価し差異を理解する。			